

※チェックリストを活用し、定期的な安全確認を行ってください。



安全チェックリスト

活動を始める前に、お子さんにとって危険な場所がないか、このチェックリストを使って確認を行いましょう。

1. 火災や地震の際の避難場所を知っていますか。
2. 119番を呼ぶ際に必要となる情報（活動場所の住所、目印となる建物）について把握していますか。
3. 緊急連絡先（利用会員、ヘルパー会員、センター、かかりつけ医など）を控えていますか。
4. 階段や段差のあるところには、子どもが落ちないように対策がしてありますか。
5. ドアがバタンと閉まらないような対策がしてありますか。
蝶番（ちょうつがい）の隙間対策をしてありますか。
6. たばこ、ライター、薬、化粧品、洗剤、刃物などを子どもの手が届かないところに置いていますか。
7. 硬貨、ピアスなどの小物、あめ玉、ピーナッツなど子どもが飲み込んでしまうものは子どもの手が届かないところに置いていますか。
8. ビニール袋やラップなどを子どもの手が届かないところに置いていますか。
9. 熱いお茶、ポット、鍋、アイロンなどを子どもの手が届かないところに置いていますか。
10. 石油ストーブやファンヒーターなどの暖房器具は、子どもの手が届かないように対策がしてありますか。
11. 浴槽や洗濯機に水を溜めたままにしていませんか。浴室に鍵をかけるなど子どもが1人で中に入れないような対策がしてありますか。
12. 子どもが窓やベランダから外に飛び出さないように踏み台となるような物を片付けましたか。1人で出ないように鍵をかけましたか。
13. 子どもをベビーベッドなどの高いところに寝かせる場合、転落防止のための対策をとってありますか。
14. 子どもの寝床にぬいぐるみやタオルなど、口や鼻をふさぐ危険があるものを置いていませんか。
15. ブラインドの紐は子どもが首をひっかけてしまわないように、子どもが届かない高さでまとめてありますか。

ファミリー・サポート・センター事業における会員の留意事項

(1) 乳児の扱い

うつぶせに寝かせた時の方が、あおむけ寝の場合に比べてSIDS（乳幼児突然死症候群）の発生率が高いことがわかっており、うつぶせ寝がSIDSを引き起こすものではないが、特段の理由がない限りは、乳児の顔が見えるあおむけに寝かせるようにすること。

また、窒息や誤飲、けがなどの事故を未然に防ぐことになるため、なるべく乳児を一人にしないことや、寝かせ方に対する配慮をすること。

(2) 子どもの転倒事故

ヘルパー会員は、子どもの進路につまづきやすいものや段差がないか注意を払うこと。また、帰宅途中は、ヘルパー会員と手をつないで帰るなど、転倒させないための工夫をして事故防止に努めること。

さらに、自動車に子ども（6歳未満）を乗車させる場合には、チャイルドシート等の使用が義務づけられているので、必ずチャイルドシートに座らせ、シートベルトをしっかり締めること。

(3) 火気の使用時における接触事故

ストーブ等の火気を使用する場合には、子どもが火気に触れることがないようにガードをつけたり、子どもの手の届かないところに配置すること。